

公益財団法人 日本生態系協会 2027年(令和9年)4月採用予定 新卒求人のお知らせ

調査研究系スタッフ 及び 総務系スタッフ を募集します。
自然を守りたい方・増やしたい方は、ぜひご応募ください。

対 象 2027年3月卒業者、2026年3月卒業者

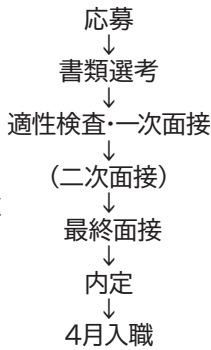
募集人数 若干名

締切日時 第1期締切 2026年 4月19日(日) 24時着 **終了**
第2期締切 2026年 7月12日(日) 24時着 **終了**
第3期締切 2026年 10月18日(日) 24時着

提出書類 ① 履歴書(顔写真、メールアドレス、携帯電話 必須)
② 志望理由・取り組みたいテーマ(A4サイズ1枚以内)
締切日時までに、①と②をメールでお送りください。

採用試験 各期の締切をもって書類選考ののち、通過者について、本部事務局または近隣、あるいはリモートにて、面接等を実施します。

提出先 (公財)日本生態系協会 採用担当宛
saiyou@ecosys.or.jp



＊応募に関する問い合わせ、採用に関するご質問は、メールで承ります。
2028年新卒についてもお受けします。saiyou@ecosys.or.jp

＊求人情報の詳細は、「求人受付NAVI」「キャリアタスUC」でご覧ください。
3月中旬に配信予定です。(応募者、および、お求めの方には、より詳しい求人票をお送りします)

＊提出いただいた書類は、原則、返却いたしません。予めご了承ください。
お預かりした個人情報、採用に関する連絡以外には使用いたしません。

＊一次面接・二次面接はリモート可、最終面接は対面式です。最終面接については、協会が交通費を負担します。

＊二次面接は、より深く話を伺いたい時など、必要に応じて実施します。



このような方を求めています

公益団体である当協会の活動や、そこに社会から求められることは、一般的な企業や行政機関とは異なります。
世界的な課題(環境問題、とりわけ生物多様性)の解決に向け、企業や行政では取り組みえない部分を補い、または、リードしていくことが仕事です。
そのようなことを理解し、活躍していただける方を求めています。

当協会の活動や考え方を理解している方

ボランティア精神に富む方

人と積極的に関わることができる方、好きな方

組織の概要

- 名称 公益財団法人 日本生態系協会
ECOSYSTEM CONSERVATION SOCIETY - JAPAN
- 代表者 池谷奉文
- 設立 1992年2月3日設立
- 所在地 事務局(本部)
東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル
生態系研究センター
埼玉県さいたま市大宮区宮町1-103-1 YKビル
森の墓苑
千葉県長生郡長南町市野々815-2
海外事務所 アメリカ、ドイツ
- 連絡先 tel. 03-5951-0244 (代表)
saiyou@ecosys.or.jp (採用担当)
- 認証等 褒章制度 紺綬褒章

当協会は、内閣府賞勲局より、「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。そのため、当協会に寄付をされた方は、推薦により、紺綬褒章授与の対象となります。(個人500万円以上、法人・団体1,000万円以上)
環境省 環境人材認定事業・環境人材育成事業
環境教育等促進法に基づく、環境教育等の指導者等を育成または認定する事業として、ビオトープ管理士・子ども環境管理士が認定事業に、ビオトープ管理士セミナーが育成事業に認定されています。



褒章制度 紺綬褒章
当協会は、内閣府賞勲局より、「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。そのため、当協会に寄付をされた方は、推薦により、紺綬褒章授与の対象となります。(個人500万円以上、法人・団体1,000万円以上)
環境省 環境人材認定事業・環境人材育成事業
環境教育等促進法に基づく、環境教育等の指導者等を育成または認定する事業として、ビオトープ管理士・子ども環境管理士が認定事業に、ビオトープ管理士セミナーが育成事業に認定されています。

事業の概要

当協会は、自然と伝統が共存した持続可能な美しい国づくり・地域づくりが実現されることを目指しています。
そのためには、企業、自治体、国など社会の各セクターをマッチングすることが必要でし、専門団体として、知識や考え方、技術を社会に提供する必要があります。
そうしたことから当協会は、以下のような事業に取り組んでいます。

- 普及広報(政策提言、環境教育、会報の発行、資格等の認証、市民活動支援等)
- 調査研究(生態系や生物多様性の保全、エコロジカル・ネットワークの推進、ハビタット評価、自然再生、森林保全、土地利用計画等)
- ビオトープ管理士資格試験、子ども環境管理士資格試験の実施
- JHEP認証制度、G認証制度の運営
- ナショナル・トラスト事業(トラスト地の保全、トラスト活動支援、土地調査)
- 自然保全・再生墓地事業(森の墓苑の運営) …など

仕事の内容

より具体的には、以下のような業務を行っています。公益の実現ため、一つの仕事にとらわれず、多岐にわたって活躍する先輩方がほとんどです。
そうした先輩方や採用担当に話を訊きたい方は、ご遠慮なくお問い合わせください。また、職場訪問も適宜、受け付けています。
2028年の新卒採用を見据えたお問い合わせも大歓迎です。

- 国土計画・都市計画・農村計画・森林計画、環境関連の法律、条例、行政政策などにおける自然と共存したくにつくり・まちづくりに関する企画、提案、報告書作成
- 野生の動物・植物の生態・分布等に関する情報をふまえた、自然を守るための事業提案、報告書の作成
- 関係主体をつなぐブリッジセクターとしての、自然環境の専門団体の役割
- 全国学校・園庭ビオトープコンクールをはじめとする、各種の公益事業の実施
- 支援者対応、組織運営に関する庶務、広報活動の実施 …など

- 沿革 平成 4年(1992) 日本生態系保護協会 発足
平成 7年(1995) 財団法人日本生態系協会 設立
平成 9年(1997) 「ビオトープ管理士資格試験」開始
平成 11年(1999) 「全国学校・園庭ビオトープコンクール」開始
平成14年(2002) 「グランドデザイン総合研究所」設置
平成18年(2006) 「教育研究センター」設置
平成19年(2007) 「子ども環境管理士資格試験」開始
平成20年(2008) 「JHEP認証制度」開始
平成24年(2012) 公益財団法人に移行
平成28年(2016) 「森の墓苑」開苑
令和 6年(2024) 「G認証制度」開始

- 会員 個人会員、環境保護団体会員、企業・団体会員、学生団体会員、エコネット会員(無料)..... 会員数 約 12,000 人/団体

- 職員数 50人(2026年7月現在)

- 技術士(総合技術監理部門) 1人
- 技術士(環境部門) 6人
- 技術士(建設部門) 7人
- 生物分類技能検定 2級動物部門1人
- 1級ビオトープ計画管理士 3人
- 1級ビオトープ施工管理士 1人
- 2級ビオトープ計画管理士 8人
- 2級ビオトープ施工管理士 4人

技術士は、業務上、重要な国家資格のひとつです。当協会では、キャリアアップのため、資格の取得を積極的にサポートさせていただいています。

2026年7月現在

その他、当協会の考えや活動の内容、政策提言や事業の実績、組織のあらまし、イベント情報などは、Webでご確認ください。会報『エコシステム』は、「エコネット会員のページ」でご覧いただけます。(登録無料)

